



気象庁は、雷注意報を発表している、さらに竜巻発生のおそれがある場合に府県単位で「竜巻注意情報」を発表します。身近なところで、真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる、雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする、ヒヤッとした冷たい風が吹き出す、大粒の雨や「ひょう」が降りだすなどの現象があれば、発達した積乱雲が近づいている兆しとなります。竜巻の接近を察知したら、竜巻を見続けることなく、屋外では、頑丈な建物内に移動する、シャッターを閉める、屋内では、家の1階の窓のない部屋に移動する、窓やカーテンを閉めるなど、安全確保に努めることが大切です。

(続く)



図3:ろうと雲(2001年4月4日 鳥取空港にて)



著者紹介 有本 敏雄(ありもと としお)

鳥取県出身。防災士。2011年4月から再任用で大阪管区気象台予報課天気相談所技術主任現職。鳥取地方気象台を振り出しに、西郷測候所、大阪管区気象台、彦根、広島、松山、京都地方気象台等を歴任、2011年3月気象庁定年退職。趣味は写真、カラオケ、釣りなど。

広 告